

## 平成22年度事業計画書

### 1 平山郁夫とシルクロードに関する美術品等の収集と公開、海外展協力を行い、シルクロード文化並びに日本画の理解を内外に普及させる。

#### (1) 展示

- 1) 企画展示「カシ米尔ショール - 変化するペイズリー文様 - 」 前年度より継続  
4月1日～5月31日 (3月21日より継続) 54日間  
(160千円)
- 2) 企画展示 追悼 平山郁夫「最期の風景」 前年度より継続  
4月1日～7月12日 (3月21日より継続) 90日間
- 3) 常設展示「平山郁夫シルクロード美術館館蔵名品展」  
6月3日～7月12日 36日間  
(570千円)
- 4) 特別展示(巡回展)「平山郁夫展 ―シルクロード 奈良への道―」  
7月18日～8月22日 36日間  
\*4月17日～5月30日 奈良万葉文化館 (2,000千円)  
6月2日～7月14日 平山郁夫美術館
- 5) 特別展「平山郁夫シルクロード日本画展 ―文明の十字路を行く トルコ―」 59日間  
8月6日～10月3日 (25,000千円)  
\*ペラ美術館と共催 会場:ペラ美術館(イスタンブール)  
\*2010年トルコにおける日本年認定事業
- 6) 企画展示「栄光のペルシア」 8月27日～2011年2月27日 162日間  
\*12月24日～31日 休館 (800千円)
- 7) 企画展示「鼻煙壺と中国工芸」(仮称) 2011年3月5日～3月31日 23日間  
\*次年度へ継続 (1,200千円)
- 8) 追悼平山郁夫展 (仮称) 2011年3月5日～3月31日 23日間  
同上

#### (2) 貸出事業

- 1) 「平山郁夫展 ―シルクロード 奈良への道―」 絵画作品(平山郁夫本画) 4点
- 2) 和歌山県立近代美術館への貸出(予定) 期間:11月10日～12月23日 平山作品15点

#### (3) 主な収蔵品の画像資料をホームページにて公開

#### (4) 展覧会図録の刊行(年2回)

#### (5) 「平山郁夫シルクロード美術館ニュース」の刊行(年2回)

**2 平山郁夫とシルクロードに関する研究並びに海外調査研究に対する助成を行い、わが国の学術研究の向上に資する。**

(1) 収蔵品に関する調査研究

1) 展覧会準備のための収蔵品調査

- ・ 共立女子大学との染織品・古代刺繍共同研究（前年度より継続）
- ・ 古代オリエント博物館との共同研究
- ・ 文化女子大学との共同研究（前年度より継続）

2) 寄託収蔵品の調査・研究

3) 収蔵品基礎資料見直しのための調査

4) 平山郁夫スケッチ帳の資料化（継続事業）

（スケッチ帳の写真撮影およびデジタル化）

5) 平山郁夫取材旅行に関わる平山美知子フィールドノートのデジタル化

6) 平山郁夫取材旅行に関わる写真資料のデジタル化

(2) 海外調査研究に対する助成

- ・ 大学生、大学院生、専門家のシルクロードに関する調査研究を支援（500千円×1～2名）
- ・ シルクロード関連の研究者の招聘（400千円）

(3) 紀要の刊行（海外調査助成金支給対象者による報告等）

**3 平山郁夫とシルクロードに関する講演会、講習会等を開催し、シルクロードの文化の理解を普及させる。**

(1) 展覧会に関する講演会の開催（年3回）

上期：カシミールショール関係2回、下期：ペルシア関係1回

(2) 体験教室の開催（年3回）

日本画教室、染色教室（2回）

(3) 青少年向け企画（年2回）

夏休み：1回、秋：1回

(4) コンサートの開催（年1回）

**4 美術館施設の開放、平山郁夫とシルクロードに関する小中学校生向けの刊行物の制作頒布を通じ、小中学校における美術教育の向上を図るとともに、シルクロードの文化の理解を普及させる。**

(1) 地元小中学校の教員・生徒に対する美術館の開放及び学習協力、教材制作

(2) 小中学生を対象とした「シルクロード読本」（仮称）の制作

(3) 教育普及事業

1) 第2回平山郁夫絵画教室

教育委員会の協力を得て、美術館の地元小学生約200名を対象とした第2回絵画教室を開催  
講師は宮廻正明（みやさこまさあき/東京芸術大学教授）氏を予定。予定日：5月26日。

**5 地域文化活動に参加協力することにより地域の文化的資質を向上させる。**

(1) 絵手紙コンテストの実施

1) 美術館内にて実施

2) 地元のイベントやお祭り会場へ出張

(2) 地域の協議会等への参加

(3) 地域創作作家の展覧会開催の協力

**6 ミュージアムグッズの開発、及びミュージアムショップの運営によりシルクロード文化の理解を普及させるとともに、法人財政の強化に資する。**

(1) 展覧会時におけるグッズの製作（13,000千円）

**7 その他目的を達成するために必要な事業**